

「尾野見小学校の銭太鼓踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	志布志市立尾野見小学校
2. 学年・人数	5・6年生 22人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 1回目 令和6年11月15日（金） 尾野見小学校体育館 2回目 令和6年12月3日（火） 尾野見小学校体育館 3回目 令和6年12月10日（火） 尾野見小学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年12月14日（土） 尾野見小学校創立150周年記念式典 （尾野見小学校体育館）
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 銭太鼓踊り（ぜにだいこおどり） (2) 由 来 1947（昭和22）年頃に志布志松山町泰野の心光寺で毎年4月に行われお釈迦様の御誕生日に井手口集落の婦人会が踊ったものが始まりである。元々、志布志市有明町伊崎田地区で踊られていたものが尾野見に嫁いでこられた方々によって伝わったと考えられる。 (3) 構成等 細長い筒に紅白の糸を付け、中に5円玉を3個ずつ（両端合計6個）を付け踊る。筒を回転させたり、床でたたいて音を鳴らしたりという動きを繰り返す。五穀豊穡を願って踊っていると伝わっている。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域とが連携し、継承していくために尾野見コミュニティ協議会に協力を依頼し、講師招聘、銭太鼓作りなどを行った。数十年ぶりの復活で映像や資料などもなく、地域の方々の記憶を頼りに練習に取り組んだ。今後も継続して、銭太鼓を伝承していけるよう学校行事で披露する場を設けていきたい。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 地域の方の指導の下、練習  創立150周年記念式典で披露
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・どんな踊りか分からなかったけれど、練習していくうちに楽しくなった。 【保護者】 ・途絶えていた伝統芸能を鑑賞することができ、感動した。 【地域指導者】 ・久しぶりに復活してうれしい。ぜひ、運動会の種目としても取り入れて、継承してほしい。